

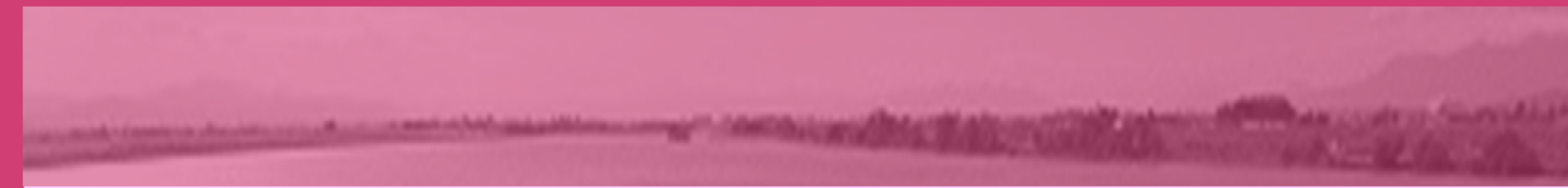
一粒の麦 場面一

吟子誕生



「学問をしたい」と父と母に訴える、吟子。幼いころから聡明で、勉強好きであったといわれています。

荻野吟子は、1851(嘉永 4) 年 3 月 3 日幡羅郡俵瀬村 (現 熊谷市俵瀬) の名家 荻野綾三郎・嘉与の五女「ぎん」として生まれました。荻野家は、俵瀬村の名家として村運営の中心を担った家で、長屋門を構えた豪壮な家でした。この俵瀬村は、当時の利根川には堤がなく水に悩まされ続けた水場の村でした。



1868(慶応 4) 年、吟子が 17 歳になる年に、埼玉郡上川上村 (現 熊谷市上川上) の有数の豪農で名家 稲村家の長男に嫁ぐことになりました。しかし、吟子と貫一郎の結婚は、長くは続きませんでした。吟子は夫の病気がうつり、実家での療養を余儀なくされたのです。近くの利根川で、途方に暮れる吟子は 8 歳年上の友人の荻江から励まされます。



▶ 松本荻江と吟子

資料提供 (株)現代ぷろだくしょん

写真提供 (株)トライストーン・エンタテイメント

引用元 映画『一粒の麦 荻野吟子の生涯』facebook / Imgrum#荻野吟子photos&videos
若村麻由美 mayumi wakamura official

パネルその二

写真と解説はイメージです。史実と異なる場合もあります。

一粒の麦 場面二

最初の結婚



親戚、知人から見守られ、俵瀬の実家から、上川上へ嫁いで行きました。